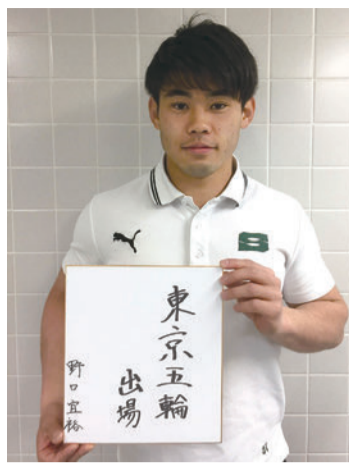


2020にトライ

リオデジャネイロオリンピックで正式種目となった7人制ラグビー。昨年10月、セブンス日本代表に選出され、アジアラグビーチャンピオンズシリーズを受けていた野口宜裕(法3・早稲田摂陵高)に話を聞いた。

かつてセブンス日本代表監督を務めていた村田互監督から「技術だけでなく楽しんでプレーすること」とアドバイスを受けていた野口。初めての招集に「練習生から段階を踏んで、やっとの思いで日本代表になった。夢がなかったが、試合では出場時間が短く、緊張して思うようなプレーができなかった」と悔しがった。

しかし、試合での活躍が認められ、オ



リンピック強化指定選手にも選ばれた。

野口の持ち味は「代表の中でも負けていない」というフイカル面。常に動き続け、果敢にトライを狙う。今後は「視野を広く持ち、コミュニケーション能力も向上させなければ」自身の課題を分析。2020年東京オリンピックに向けて、「2年はあつという間。日本が強くなるためには、メダル獲得の意識を日ごろから持つことが大事。日本開催なので絶対に代表入りを果たしたい。まずは自身自身の課題を克服し、プレーの引き出しをもっと増やしていかなければいけない」と前を見据えた。

(高田康平・経営1)

陸上競技部 長谷川 柁 (商2)



今年の箱根駅伝に関東学生連合の一員として出場。2018年度は陸上競技部のエースとして期待される長谷川柁(商2・八海高)にインタビューを行った。

箱根駅伝から1カ月が過ぎ、長谷川は「悔しい思いが(園)を控えて、現在は15〜20分のロングジョグを中心に、長距離の練習を行っている。ハーフマラソンの自己ベストは1時間5分12秒。立川ではそれを更新する1

2017年度も多くの大会で躍進した専大体育会。新年度に向け、活躍が期待される選手を専大スポーツ編集部がインタビューし、意気込みを聞いた。

躍動を期待

エースとして牽引

「4年次生が抜けたことでみんな危機感を持って練習をしている」と答え、自身のコンディショニングについて「箱根が終わって徐々に通常の練習に戻ってきており、調子は少しずつだが上がってきている」と話した。

陸上競技部は2月12日から22日まで、初めて沖縄県宮古島で合宿を行う。「エースとして認められるように練習時からチームを牽引したい」と気合を入れる。

2014年以来となる箱根駅伝本大会出場には、長谷川の活躍が必要だ。

(内田裕士・法1)

浜松で冬に鍛える剣道錬成会

800人男女中学生が汗

剣道部員が中学生に指導をする「浜松で冬に鍛える剣道錬成会」が昨年12月26日から3日間、静岡県浜松市で開催された。

錬成会は、大学生の指導で生徒の心身を鍛え、剣道の技術を向上させようという浜松市の中学の教員らが企画。浜松市出身で本学剣道部長である齋藤実経営学部教授に剣道部員の派遣を依頼、2016年暮れに初めて開催された。2回目となる今回は、剣道部員5人が講師として赴き、3日間で行われる大幅に上回る延べ800人の男女中学生が汗を流した。評判を聞き浜松市外の参加者も多かった。

剣道部員は、正しい竹刀の振り方、足さばきなど、剣道の基本的な技術や心構えを、実戦を交えて中学生に指導した。生徒たちはからは「基本が大切だと改めて感じた」「練習はきつかったが自分の弱いところや課題が確認できた」などの感想が寄せられた。

錬成会実行委員会事務局長で浜松市立曳馬中学校の松下智昭教諭は「専大剣道部員はみな礼儀正しく熱心。的確なアドバイスをしてくれた。生徒たちは感謝している。6月の県大会に向けて、冬場に鍛えた効果が表れることを期待したい。錬成会は今後も継続して開催したい」と話す。

第一回に続いて生徒を指導した浜松市出身の井秀一朗さん(経済3・浜名高、剣道部主務)は「故郷に恩返しできてうれしい」と話している。



打ち込みけこに取り組み中学生たち(浜松市)

中学生に長距離走を指導 伊勢原で陸上競技部



正しいランニングフォームを実践する参加者

1月27日、専大伊勢原総合グラウンドで伊勢原市内の中学校4校の陸上競技部員を対象に陸上競技部の長谷川淳監督、宮坂俊輔コーチ、1年次生6人が長距離走の指導を行った。

宮坂コーチは「参加者からの質問に部員たちは丁寧に答えていた。理解していないと人に教えるれないので、よい経験になったと思う」と話した。

体育会の活躍を伝える

専大スポーツ編集部

専修大学体育会本部情報局「専大スポーツ」編集部(通称「専スポ」)は「専大体育会の一番のファンであることを」をモットーに、現在は、2年次生を中心に21人が活動しています。

主な活動としては、体育会各部へのインタビューや写真の撮影などの取材、毎月発行される学内広報紙『ニュース専修』内の「専大スポーツ」紙面の記事執筆、年2回発行しているフリーペーパー「専Satiation」の製作・発行があります。ほかにも、速報性を重視した内容のツイッターやフェイスブックなどSNSへの情報発信やホームページへのウェブ記事掲載など、インターネットを利用した活動も積極的に行っています。

「専Satiation」18号の表紙



専大スポーツ編集部のホームページで最新の情報を発信

標準式野球部員にインタビューする八代哲副編集長(経済1) 2月10日

専大スポーツ編集部

